



The Second Stage at GG#10

「原始の塔 2004」

湧上照生 展

11年前から山梨県早川町の里山で地元の木材を使って、植物や動物などの持っている

生命エネルギーをテーマに、「原始の塔」というシリーズの作品を制作しています。

自然に囲まれた空間の中で、四季の変化を受け止めながらゆっくりと流れる時間と共に、

一つの象徴的な彫刻を作る事が出来れば良いと考えています。

1999年より早川町にギャラリー「オゴン」を開設し作品の展示・販売も行っています。

2004年2月2日(月)～2月12日(木) 0:00P.M.-7:00P.M. 日曜・祝日休館 入場無料 [オープニングパーティー:2月2日(月) 6:30P.M.-8:00P.M.]



**Guardian
Garden**
PRODUCED BY RECRUIT



The Second Stage at GG#10
「原始の塔 2004」

湧上照生 展

2004年2月2日(月)～2月12日(木) 0:00P.M.-7:00P.M. 日曜・祝日休館 入場無料
[オープニングパーティー:2月2日(月) 6:30P.M.-8:00P.M.]

「自然環境から生み出される生命」 文 伴田充

熊本出身の造形作家・湧上照生氏は現在山梨県早川町という寒暖の激しい山間部に在住し制作活動を行っている。私はこの地に幾度か訪れた。5月、そこは、緑という色にこれだけ膨大な種類がある事に驚かされる。飛び交う虫、揺れる草木の音、土の香り、大気は湿気を帯び、目では追いきれないほどの生命体の中に立っている自分に気付く。そして動植物豊かなこの地は、季節のうつろいと共に少しずつ違った表情を魅せていく。そんな自然環境の中で生みだされる湧上氏の作品は、動植物の進化にとてもよく似ている。「人間が身体に合わせ、自然環境を作り変えてきたのに対し、動植物は自然環境に合わせ、身体を進化させ互いを共存させてきた」と思う。それは、湧上氏の創り出す造形物も、まるで動植物が自然環境に合わせ身体を進化させてきたかの様な、創造する事への根源性を考えさせられる。この事は作品だけではなく、湧上氏の経営するギャラリーオゴンにも同じ事が言えよう。山間部の川沿いに建てられたそのギャラリーの周りには、新たに木々が植えられ虫が小鳥がさえずり、ギャラリー内においても自然と同化していることが体感できる空間だ。その空間の中に湧上氏の作品が息吹を上げている。湧上氏が学生時代こんなニュアンスのことを私に言った。「広く浅くではなく、一点により深く」。その環境で永く生きぬくということはそういうことなのかもしれない。ギャラリーオゴン、そして、湧上照生氏から生み出される生命(作品)を、今後も追って行きたい。(伴田充-造形作家/新潟・笹川流れで古い民家を改装したギャラリーページを開設)

湧上照生 Teruo Fuchigami

- 1967年 熊本市生まれ
- 1985年 熊本第二高校美術科卒業
- 1992年 東京芸術専門学校 (TSA) 研究科卒業

個展

- 1992年 ガーディアン・ガーデン ギャラリーイック
- 1993年 富士川ふるさと工芸館
- 1994年 とまわ画廊 ギャラリーイック
- 1996年 ギャラリーイック
- 1997年 ギャラリーイック

現在、山梨県早川町「ギャラリーオゴン」にて作品常設中。ホームページにて作品を公開しています。是非御覧ください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/ogon>

ガーディアン・ガーデン

〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5
リクルートGINZA7ビルB1 TEL 03-5568-8818
「ART PARADISE」 <http://www.recruit.co.jp/gg/>

Guardian Garden
PRODUCED BY RECRUIT



リクルートGINZA7ビルの地下1階です。洋菓子ウエストの横の階段を降りてください。